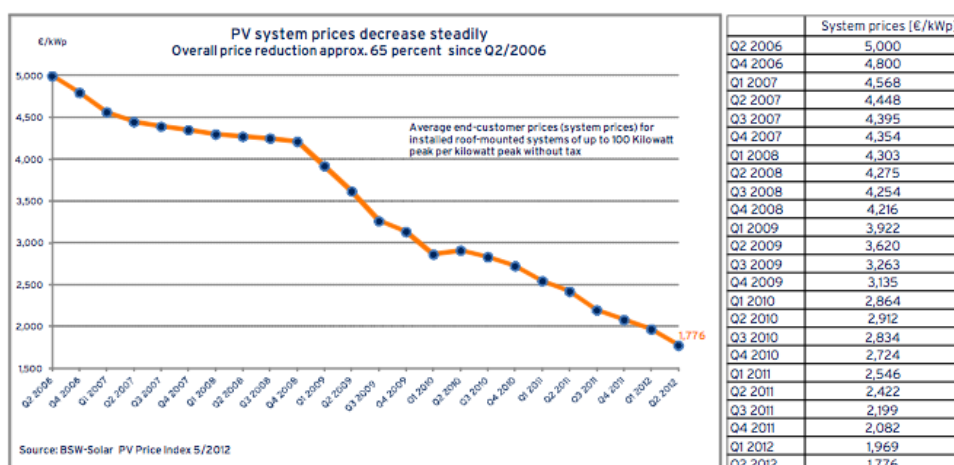


## 大幅に低下する自然エネルギーのコスト

世界で自然エネルギーの投資が増えている一方、自然エネルギーのコストは低下している。特に急激に下がっているのが、太陽光発電（PV）のコストである。

下の表は、2006年の第2四半期から2012年の第2四半期にかけて、PVシステム価格がどれほど下がったかを現すグラフである。2006年5,000ユーロ/kWのシステムコストが、2012年には1,776ユーロ/kWと、6年間の間に3分の1程度にも下がっていることがわかる。

順調に下がるシステム価格（ドイツにおける太陽電池産業のデータより）<sup>1</sup>

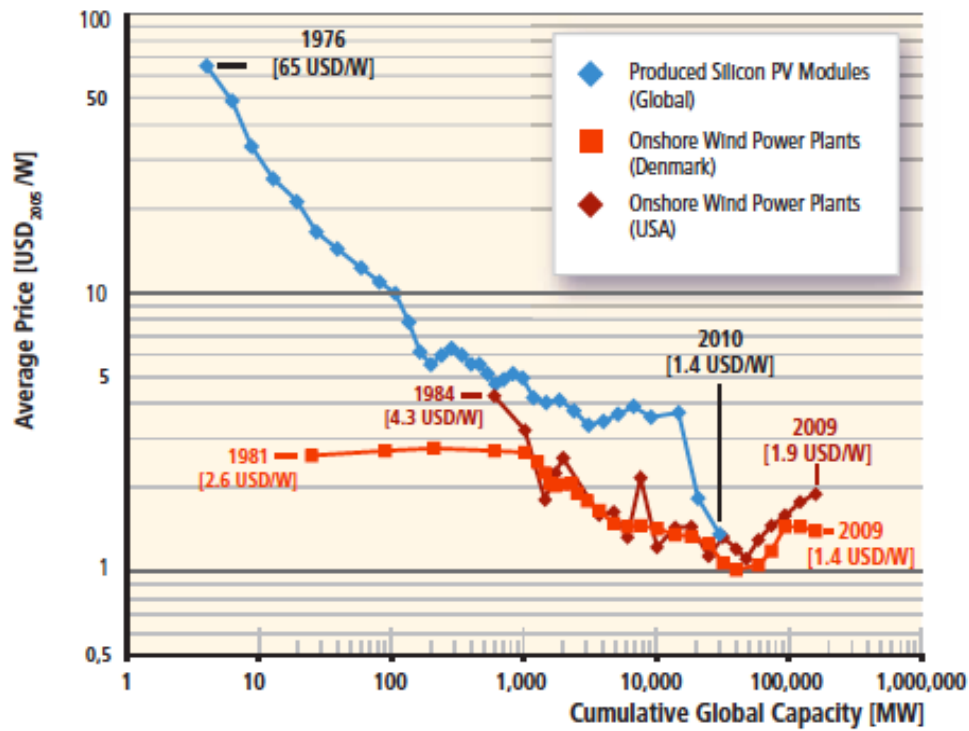


欧州だけではなく、世界的にみても、ここ数十年で、普及・量産効果により、太陽光や風力発電の価格が低下している傾向は明かである。

「気候変動に関する政府間パネル」のレポートによれば、1970年代半ばに65 USドル/W（65,000 USドル/kWに相当）だったPVモジュールの平均価格が、2010年には1.4 USドル/W（1,400 USドル/kWに相当）まで下がっている。風力についても、1981年-84年に4.3-2.6 USドル/W（4,300-2,600 USドル/kWに相当）だったものが、2009年には1.9-1.4 USドル/W（190-140 USドル/kWに相当）と半額になっている。

<sup>1</sup> ドイツにおける太陽電池産業のデータ-順調に下がるシステム価格、ドイツ太陽産業協会、2012年6月  
[http://www.solarwirtschaft.de/fileadmin/media/pdf/BSW\\_facts\\_solarpower\\_en.pdf](http://www.solarwirtschaft.de/fileadmin/media/pdf/BSW_facts_solarpower_en.pdf)

PV モジュールの価格と陸上風力発電コスト低下の経験カーブ<sup>2</sup> (IPCC, SREEN 報告書より)



<sup>2</sup> 再生可能エネルギー源と気候変動緩和についてのレポート (SRREN: Renewable Energy Sources and Climate Change Mitigation)、IPCC、2011  
<http://srren.ipcc-wg3.de/report>